

会 議 録

会議の名称	第1回川越市立小中学校適正規模・適正配置審議会
開催日時	令和7年7月16日（水） 15時00分 開会 ・16時30分 閉会
開催場所	川越市教育委員会 東庁舎2階 教育委員会室
会長氏名	会長 眞下英二
出席者氏名	別紙のとおり
傍聴人	1名
会議次第	1 開会 2 委嘱 3 あいさつ 4 議事 （1）報告事項 ①第4回会議録について ②令和6年度の審議について （2）協議事項 ①1小1中地区の5地区について （福原、川鶴、芳野、山田、古谷） ②市民センター管内その他6地区について （高階、霞ヶ関、名細、大東、霞ヶ関北、南古谷） 5 その他 6 閉会
配布資料	【事前配付】 ・川越市立小中学校適正規模・適正配置審議会 名簿 ・川越市立小中学校適正規模・適正配置審議会 次第 ・川越市立小中学校適正規模・適正配置審議会 令和6年度の審議について ・第4回川越市立小中学校適正規模・適正配置審議会 会議録 ・資料：高階地区 ・資料：霞ヶ関地区 ・資料：名細地区 ・資料：大東地区 ・資料：霞ヶ関北地区 ・資料：南古谷地区 【当日配付】 ・小中学校の児童生徒数・学級数の推計 ・地区別シート ・令和27年以降の最多就学者数・学級数

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
	1 開会 2 委嘱 【新任委員 1 名へ委嘱書交付】 3 あいさつ 学校教育部長より 4 議事 ただ今から、川越市立小中学校適正規模・適正配置審議会、令和 7 年度第 1 回会議を始めます。 本日も 1 時間半を目途に審議を行ってまいりたいと思います。ご協力のほどよろしくお願いいたします。 はじめに、本日の会議の出席状況につきまして、事務局から報告をお願いいたします。 事務局 川越市立小中学校適正規模・適正配置審議会条例第 6 条第 2 項に基づき、委員の過半数が出席しておりますので、この会議が成立していることをご報告申し上げます。 眞下会長 引き続き、資料確認について、事務局からお願いいたします。 事務局 【資料確認】 眞下会長 議事に入ります前に、本日の会議の公開についてお諮りいたします。 本日の会議につきましては、公開とさせていただきますが、ご意見ありますでしょうか。 委員一同 (異議なし) 眞下会長 それでは、本日の会議は公開会議といたします。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
眞下会長	傍聴希望者の入場をお願いいたします。 (傍聴者 1 名入場)
眞下会長	それでは議事に入らせていただきます。「(1)報告事項 ①第 4 回会議録」について、事務局から報告をお願いいたします。
事務局	(説明「(1)報告事項 ①第 4 回会議録」について)
眞下会長	会議録につきまして何か確認しておきたいことがございましたらお願いいたします。
委員一同	(意見なし)
眞下会長	ご意見等ないようですので、議事(1)報告事項の①第 4 回会議録については終了いたします。
眞下会長	それでは次に、議事(1)報告事項の②令和 6 年度の審議についてに移ります。 事務局から報告をお願いいたします。
事務局	(説明「(1)報告事項 ②令和 6 年度の審議」について)
眞下会長	先ほどご説明いただいた令和 6 年度の審議について、何か確認しておきたいことがございましたらお願いいたします。
宮岡委員	学校教育部長に聞きます。市長が交代されましたが、新市長にはどのような説明をしていますか。予算のことは関係なく審議していくということを新市長に説明してありますか。
西貝学校教育部長	今後の学校のあり方として、市内の小学校、中学校の適正規模・適正配置については検討していかなければならない課題であり、具体的にどのように進めていくかについては、審議会を設置し、検討を進めているということを説明しているところです。この場で忌憚のないご意見をいただき、内容を

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
	整理した上で、市長に報告をして進めていきたいと考えています。
宮岡委員	予算のことは考えずに進めていくという認識で良いのかを確認しておくべきと考え質問しました。
西貝学校教育部長	この審議会では、子どもたちにとっての教育環境のあり方や、学校教育の質をどのように維持向上させていくかといった視点でご意見をいただいているところでございます。当然、このままの施設を維持していくことには、コスト的には難しいところもございますので、そういった観点は今後具体的な取組を進めていく上で、状況を踏まえながら検討を進めていくことになると思います。
眞下会長	他に何かご意見等ありますでしょうか。
委員一同	(意見なし)
眞下会長	ご意見等ないようですので、議事の(1)報告事項につきましては、これにて終了とさせていただきます。
眞下会長	それでは、(2)協議事項に移ります。本日は、1小1中地区の5地区、それから市民センター管内その他6地区について、審議をしてまいります。 事務局から説明をお願いします。
事務局	(説明「(2)協議事項 ①1小1中地区の5地区」について)
眞下会長	5地区について、課題の洗い出しを行います。皆様からご意見を頂戴したいと思いますが、まず、学校の状況を把握している方から、ご意見を頂戴したいと思います。 小学校長会の遠藤委員、何かご意見ございますか。
遠藤委員	この5地区の中では、古谷地区だけ、小学校と中学校の位置があまりにも離れていて、課題が多いのではないかという印象を持っています。 他の地区については、現状、様々な児童数、生徒数の状況

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
	があるので、すぐというよりは時期を見ての判断になると思います。今後、子どもが減ってきた時のことを考えると、学校が隣接している福原小中、川鶴小中は進めやすいと思います。そして、芳野小中、山田小中については、小学校が近くにあるので、一体化は考えていいかと思います。 考えられるメリットとしては、中学校が非常に小規模ですと、教科担当の先生が大変だという話を聞いていますが、小学校でも教科担任制が進んでおり、中学校の先生が小学校に教えに来るような、先生たちの一体化もよろしいのではないかという印象を受けています。
眞下会長	中学校長会の粕谷委員、いかがでしょうか。
粕谷委員	まず確認をさせてください。施設については、小学校の6年と中学校の3年を一体化して9年で使うというイメージでよろしいでしょうか。
事務局	そのとおりです。
粕谷委員	そうであるとすれば、遠藤委員が言ったように、既に1小1中の関係であるとするならば、古谷地区を除いて他の地区は比較的近いので、一体化という考え方で良いのではないかと思います。 ただ、古谷地区に関しては、かなり遠いので、ここは課題が多いのではないかというのは同意見です。芳野地区については他の地区と比べて、子どもの減り方が激しい印象を持ちます。ただ一体化しただけでは解決できないこともあり、この後、具体的に一体化を進めていく中で、考えておいた方が良いのではないかと思いますので、意見として挙げさせていただきます。
眞下会長	他にご意見等あればよろしく願いいたします。
藤崎委員	これは、小中を1つにするという、施設の一体化ということでしょうか。
事務局	そのとおりです。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
藤崎委員	山田地区に住んでおりますので、その児童生徒数を見ていくと、基本的に今の状況では問題ないのかなと思います。施設を一体化すると、中学校の延べ面積か小学校の延べ面積を広げなければならないと思われます。
事務局	現状では、例えば、小学校を中学校へ一体化するので、その施設を2校分の大きさにするということは考えておりませんが、一体化するにあたって様々課題はあるかと思います。 例えば、小学校の方に移すのか中学校の方に移すのかというところは、地域の方や学校の職員等に様々意見を聞きながら進めなくてはいけないところかと思っています。
藤崎委員	地図を見ながら発言していますが、家や建物が無い全く別な場所へ小中一体化した学校を建設するというような方向性はもっていますか。
事務局	本審議会においては、基本的には、新たな用地を取得して、建設することは検討事項に含めておりません。小学校と中学校の施設を1つにするという方向性のみを考えています。
藤崎委員	1小1中については、そういう方向性ということですね。これは実際に関係する人に話を聞くべきであると考えます。
眞下会長	具体的に一体化の話を進める際には、地域の方々等にしっかりとご意見を伺うことから始まるということです。 他にはいかがでしょうか。
市村委員	都市化している地域だと、大規模小学校で1000人近い小学校があるそうです。中学校の子どもたちが部活動をする上で、中学校の体育館では間に合わないような状況もあり、近所の小学校の体育館を借り部活動をやっているという話を聞いています。施設を一体化した際に、体育館や校舎等のお互いに使える施設がもう少し緩やかな感じで使っていけるのかなと思いました。確かに古谷地区のように少し距離が離れているとなかなか移動するのが難しいとは思いますが、隣

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
	接しているところで柔軟に利用できれば、使っていない体育館を使って中学生の部活動ができるメリットがあるのではないかと思います。
眞下会長	ありがとうございます。事務局、よろしいでしょうか。
事務局	ご意見ありがとうございます。実際に一体化した時に、使わなくなったもう一方の施設をどう活用していくかというご意見をいただけたと捉えております。
眞下会長	他に何かご意見ありますでしょうか。
岩澤委員	体育関係でお聞きしたいのですが、今、学校開放委員会があつて、各学校で体育館の開放等をしてしていますが、川越市の新たな体育館が建設されないため、スポーツ団体が活動の場に窮しています。それで、中学校と小学校の体育館を皆さんに振り分けて使ってもらっている状況です。小中の統合を考えた場合に、体育館等の施設を残して、こうした活動に活用することについて考えはありますか。
事務局	一体化した後の施設の活用については、今後の検討課題であると捉えていますので、他部署や地域の方のご意見を伺いながら検討することになると考えております。
岩澤委員	川越市として新しく体育館を作っていただければ良いと思います。スポーツ関係者はどうしても学校の体育館に頼らざるを得ない状況です。
眞下会長	スポーツをする場所がないというご意見でございましたが、私もスポーツをする場所が無いという声を聴いたことがあります。 他に何かご意見等ございますでしょうか。
小瀬委員	施設の一体化に当たって、設置基準というものがあると思うのですが、現状、そこまでの具体的な検討は進めていますか。仮に小中学校を統合した場合の設置基準は、どのように

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
	計算していくのか教えてください。
事務局	一体化を進めるにあたって、設置基準に応じて進めていくことになりますし、児童・生徒数等に応じて決まってくると思いますが、今は一体化する上で生じる様々な課題についてご意見いただければと思っております。
眞下会長	設置基準は具体的に一体化を進めていく場合に当然見なければいけないところであります。この場では課題がどんなものがあり得るのかというところでご意見をお願いします。 他に何かご意見ございますでしょうか。
牧野委員	福原小、川越西小は隣接しているので比較的問題ないという意見が先ほどから出ていますが、私は鶴ヶ島に在住しております、そちらの方でも合併や統合といったものが進んできております。ある学校で小中学校が一体化するにあたり、おそらくモデル的に進めるようなものになるでしょうけれども、小学校の校舎を使い、中学校の体育館やテニスコートを残すというふうな方向で動いているそうです。これは隣接しているからこそできることであって、今回議題に上がっている5地区のうち3地区、芳野地区や山田地区、古谷地区に関して言えば隣接してないので、そのあたりどういう風にしていくのかなと思います。 例えば、先ほどもお話があったスポーツの部分で言えば、部活動ですとか体育の授業、小学校と中学校では体育館のサイズが全然違いますので、その辺りをどのように計画をしていくのかお伺いします。
事務局	そういった課題も含めて、例えば、中学校で言えば、体育館に柔剣道場があり、授業で使うわけですがけれども、小学校には無いという課題もありますので、一体化するときの課題の1つであると理解をさせていただきました。
眞下会長	まだ、そこまで具体的に踏み込んだ話ができる段階ではないというので、例えばこういうやり方はどうかといったご意見をいただければと思います。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
武藤委員	古谷地区ですが、小中学校が離れているというところで、古谷小の令和 12 年度までの推計を見ると、令和 6 年の 1 年生 68 人、2 年生が 70 人からそれぞれ 45 名、32 名と減っていく中で、この地区は国道 16 号が通っているので、この周辺子どもたちが国道 16 号を渡らなくて済むようになると良いと思います。また、ここが統合された時に、登校班が組めるのかという懸念もあります。やはり距離が離れていると、登校の課題が出てくると感じました。
眞下会長	古谷地区の範囲が大きくなっておりますので、徒歩で通うとしても、大人でも厳しい距離になってしまう可能性は否定できないと思います。 他に何かご意見ございますでしょうか。
國分委員	今日初めて出席する会議であり、私は山田小の P T A 会長で当事者でもあります。今の学校のあり方と学校の設備の質、教員の働き方改革などがある中で、一体化することは確かに効率的に良いのかもしれませんが、しかし、そもそも一体化してどういう教育をしていきたいのかという視点が抜けている中で議論をしているような印象があります。 一体化して、その先のビジョンがどうなっているのか。まず先にそのビジョンを見せないと、全く意味のないものになるのではないかと危惧します。 日本の人口は現在、約 1 億 3,000 万人で、今後 8,000 万人に減少するとも言われる中で、一体化していくのは当たり前の状況かと思います。逆に言えば少なくなればなるほど良い教育環境になるのではないかと考えています。そういう意味で、子どもたちのことを考えて議論をすることが大事だと思いました。川越市として、今後どのような教育をしていくのか、どうやって価値を生み出していくのかということがないのが少し寂しく感じましたので、そこもしっかり議論していただきたいです。
眞下会長	ありがとうございます。全くビジョンが無いわけではないと思いますし、そういった議論はとても大切ではありますが、今回は適正規模・適正配置について考えていく場であり

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
	ますので、なかなか表に出てこない部分かと思います。 事務局におかれましては、先ほどのご意見、非常に重要だと思いますので、ぜひとも積極的に検討していただきたいと思います。他、何かございますでしょうか。
小瀬委員	山田地区と芳野地区の2つは、距離的に少し離れているが、一体化が可能という話ですが、距離的に離れた小中学校の一体化の事例はあるのでしょうか。一体化には教員の人員構成も関係することでしょうし、先ほど話題にあがりましたが、例えばグラウンドだけ離れた場所を使うということは、高校や大学ではよくある話ですが、小中学校でそういったことが可能なかは、今後調べておくべきと考えますがいかがでしょう。
眞下会長	今のご質問は、小学校、中学校のそれぞれの施設を別々に残しつつ、小中を一体化した場合の施設の使用についての考え方はどうかということですね。
小瀬委員	小中学校は距離的に離れていても統合するのかという点もありますし、グラウンドだけ残すようなこともあり得るのかとも思います。学校として離れていても良いのか、実際に成り立つのかということを確認しておいていただきたいです。大学の施設などは離れていることが当たり前ですが、それが小中学校においてもそれで良いのか分かりかねます。
眞下会長	事務局、いかがでしょうか。
事務局	先ほどの國分委員のご意見にも繋がる場所があります。今、施設を一体化するという話をされていて、この次の段階で小中一貫校を目指すのか、義務教育学校を目指すのか、といった議論がなされるものと考えております。 小中一貫校に関しては、施設が離れていても導入している他の市町村の事例はございます。一体化した時に、片方の施設をどう残すかという点については、今後の検討課題になっていくものと考えております。この場では、施設を一体化していくというイメージで考えていただければと思います。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
眞下会長	他にはいかがでしょうか。
山崎委員	もう一度今までの議論を確認しておきたいのですが、今この場では施設を一体化するということが自体が決定したということですね。その後、具体的なカリキュラムや一体化に伴う課題云々の話はまた先の話だということですから、今話題とすべきなのは、施設の一体化に関して想定される課題を出してほしいということ。これが1つまず確認できました。 もう1つは、例えば今示されている資料を見ても、教室が入っている校舎の建物が、鉄筋コンクリート造であるとか、残年数がどれだけかといった数値は把握できるわけです。けれども、これまでの議論で出ている体育館やプールといったような施設というのは、その辺りも気にされているわけですね。こういった施設の資料というのは今後出してもらえるものですか。要するに学校施設は、校舎だけでなく他の建物に分かれているものですから、例えば中学校が新しく体育館を作っていくのか、それをどう使用していくのかということが課題の中の1つとして出てきそうなのです。耐久年数等の考え方も、体育館と鉄筋コンクリート造の校舎が一緒の考え方なのか。それぞれの施設を切り離して考えようとなった時には、社会教育的に見ても、学校は地域の中心、コミュニティの中心になる大きな存在になると思います。従って、それぞれの施設に関する耐久年数等の数字というのが必要になると思いますが、現状、把握されているのでしょうか。
宮岡委員	冒頭で、西貝部長に確認したのは、予算のことは考えないで、小学校、中学校の一緒にすることに関する課題を考えてくれればいいということです。この先のことを心配するなという話ではありませんが、今の川越市の予算で一遍に建て替えるなどということはありません。学校の建替えや体育館の建設等もひとつずつ対応してきているわけで、それぞれ対応できる数も違うわけです。この審議会では予算のことは考えずに、適正規模・適正配置の話をしてほしいということですから、そのように進めてもらえばよいと思います。
事務局	今、宮岡委員がおっしゃられた通りでございまして、まず、この審議会におきましては、今後の小中の学校のあり方、基

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
	本方針をまずは決めていくということです。この場におきましては、小中一体化についての部分で、どのような問題があるかというところをご意見賜りたいと考えております。 いつ耐久年度が終わるのかとか、いつ立て替えなければいけないのか、一体化した時にこれでは面積が足りないから増築しなければいけないとか、そういった個別具体的な話になります。まずはこの基本方針を教育委員会として示した後に、具体的な動きに入るタイミングで、地域ごとに検討委員会を設けるような形をイメージしております。その段階では、予算等を含めた具体的な検討が必要になると思います。この審議会におきましては、予算の面は考えずに、まずは小中一体化の部分で教育的観点からどのような課題あるかという点をご意見いただければと考えております。
山崎委員	理解しました。今後検討していく中にあっては、各施設が、教室だけではなくて体育館等の各施設も有益に地域がまた使えるようにという視点を残しつつ、今後検討していかなければならないという課題を提案させていただくことにしたいと思います。
眞下会長	宮岡委員、よろしいでしょうか。
宮岡委員	はい、そうですね。
眞下会長	他にはいかがでしょうか。
藤崎委員	そこに山田地区が投影されているので聞きたいのですが、審議いただきたい内容ということで、「施設を一体化するにあたって課題はないか」という提起をされています。提起する側としては、どのような課題を考えられているのでしょうか。まずはそれを知りたいです。前回も、議論の土台になるような、たたき台を出していただきたいと申し上げたと思います。課題があるかないかは、私たちに言われても、当事者でもないのだからわからない部分が多いです。教育委員会が課題として捉えていることもあるはずで、それらをたたき台として出していただくことで、話し合いが進むのではないのでしょうか。前回、私が問題提起したと思います。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
眞下会長	各委員から意見をいただいている中で、古谷地区のように距離的に離れすぎていると、登校の安全面等に課題があるとか、施設の使い方に関しては、地域の方にもご意見をいただきながら進めていかなければいけない、といったような内容は、課題として受け取らせていただいたところです。 課題になりそうな指摘として、位置関係、残年数、それから児童生徒数の動向とか、そういったところがまず中心的な話題になると想定していたのですけれども、それ以外にも委員の皆様から色々ご意見を頂戴したと思っております。 他市の状況と比較した意見や距離の問題もありましたし、グラウンドと校舎施設の関係とか、そういった課題もいただいたので、様々意見を出していただけたと考えております。 議論が拡散しがちになっているのは、1小1中の地区の一体化について考える時に、施設自体の問題や一体化した後、どのように運用をするのかという問題が、混同しているからだという気がいたしました。 もちろん両方とも重要なところではありますが、施設の問題になりますと、先ほどから話題に出ておりますように予算の話になってしまいがちですので、少々ややこしくなるかと思います。 一体化に向けて施設の問題を議論した後に、実際に國分委員がおっしゃるような、より良い教育を行っていくためにどのような課題があるのかと考えていくのが良いと考えました。 それを踏まえた上で、こういう運用上の問題がありうるのではないかとすることがあれば、ぜひともご提示いただきたいと思っておりますけど、いかがでしょうか。
遠藤委員	山田小中に関しては、すぐに1つにしてしまうのかと思いがちですが、児童生徒数の様子から見ても、そんなに直近ではないという認識でいます。 ただ、中学校に関してはかなり生徒数が減っていくというところもあるので、今後のあり方をここで話し合うことになっていると思います。見通しが立たないところもあると思うのですが、先ほど鶴ヶ島市ではモデル的に進める話もありましたから、審議会で答申として提示していくにあたっては、

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
	一斉に全地区を始めるのではなくて、必要なところから慎重に選定していくことが必要だと思います。モデル的にスタートして、川越市内でもいくつか一体化を進めなければならない状態になった時に、モデルの成果が活かされるような形で進めていってもらいたいという意見を審議会として残してもいいのではないかと思います。
眞下会長	今後の進め方、手順に関するご意見ありがとうございます。一斉に進めるというのは現実的とは思えませんので、出来るところから始めていく考え方はあると思います。 まだ言い足りないという方もいらっしゃるかと思います、そろそろ次の議題に移りたいと思います。
眞下会長	それでは、協議事項②市民センター管内他 6 地区についてに移ります。まずは、事務局から説明をお願いします。
事務局	(説明「(2) 協議事項 ②市民センター管内その他 6 地区(高階地区)」について)
眞下会長	まず、高階地区につきまして、委員の皆様、何かご意見はありますか。
武藤委員	おそらくこの地区の中で 1 番課題になってくるのが、砂中学校になると思います。 砂中学校は、本庁管内の仙波小と南古谷地区の牛子小からも進学しています。 実際、私が P T A 副会長をやっていた時は、新会長が本庁管内の岸町在住で、仙波小エリアの方でした。この方が、高階地区の子どもサポートに参加する時に、高階地区のことが全くわからないので一緒に来てほしいと言われて同行して行ったこともあります。他の方々は基本的にみんな高階地区なので、地域のことから理解しながら、P T A 活動等を行っております。小中学校と高校と特別支援学校の高階分校の先生方や、P T A 会長が集まる会議も開かれていて連携もしているところではありますが、砂中だけがその時の P T A 会長が牛子小や仙波小から出て来ると、高階地区の会議に入っても、話の内容がよくわからないという状況が発生してい

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
眞下会長	ます。 砂中だけ地域的な部分で難しい状態にあると思います。加えて、この砂中の場所ですが、低地にあるので、水害が発生しやすいです。そういった課題を持っているということは把握しておいた方が良いでしょう。 私も川越に住んでいるわけではないですが、25年間川越市内の大学に在職していても、なかなかその辺りのお話は把握していなかったです。確かに別の小学校から来た人が多いってことになる、分断が起こる可能性は否定できないです。 高階地区につきまして、何かご意見はありますか。
粕谷委員	1小1中の関係が地区の中に存在します。具体的に申し上げますと、例えば、高階西小、高階西中は、道路を跨いで目の前にありますので、これは一体化するのであれば比較的やりやすい環境にあるのかなという感想はあります。これは寺尾小中も同じ話かなと感じました。ただ、それ以外の所は、多くの学校で、小学校が一緒に、中学では地区が変わってきてしまうなどの大変な事情もあります。 そうすると、少し大きな話ですけども、通学区域の変更といったところも考えていく必要があるのかなと思ったところでは。
眞下会長	私もこの高階の資料を拝見して思ったのが、結構入り組んでいますから、これは色々と議論はあると思いますけれども、先ほど来、話題に出ております質の良い教育という観点から見た時に、この状態が果たして適切かというところは議論の対象にしていいかと思いました。 通学区域を変更して、なるべく同じ小学校の子どもが固まることができるようにするというのは、小中一体的な教育を行うという視点を持つのであれば考えてもいいと思います。 高階地区につきまして、他に何かございますでしょうか。
委員一同	(意見なし)
眞下会長	それでは、続きまして、霞ヶ関地区について、事務局からお願いします。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
事務局	(説明「(2) 協議事項 ②市民センター管内その他6地区(霞ヶ関地区)」について)
眞下会長	霞ヶ関地区につきまして、ご意見はありますか。
小瀬委員	霞ヶ関地区で1番古いのが霞ヶ関小学校、中学校です。そこから分離して増えていったと考えると、やはり基本的には元からある場所に統合していくというのが前提になってくるのでしょうか。名細地区でも出てきますけど、名細小、名細中でもそういったことがあるから、同じような方向性というのが必要になってくるのではないのでしょうか。
眞下会長	その辺りの考え方は、事務局いかがでしょうか。
事務局	これもひとつの考え方として、自然な流れとして受け止められやすいかと思います。ご意見ありがとうございます。
眞下会長	他に何か霞ヶ関地区につきまして何かございますでしょうか。
遠藤委員	霞ヶ関については私が卒業した学校であります。 思い出をお話させていただくと、たくさんの学校が分かれていく、まさにその時代の小学生でした。統合の際は、単純に元の学校に戻ってくればいいのかとも思います。霞ヶ関南小が、例えば霞ヶ関西小に全部吸収されたとすると、霞ヶ関西中と霞ヶ関中に進学するエリアの子たちがいて、どうするのかなと思います。そこに住んでいる子たちが、どちらの中学校に行きたいのかという思いもあるような気がします。また、そうすると、霞ヶ関小に行きたい、霞ヶ関西小に行きたい、両方の思いもあるような気がします。ここは、子どもの思いとか保護者の思いを少し慎重に聞いた方がいいのかなと思うところです。
眞下会長	先ほど説明があった最多就学者数、学級数から見ると、霞ヶ関地区は中学校数が1校で足りるという話です。そうすると、霞ヶ関地区内と言ってもかなり距離がありますので、場

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
	所はどうするという話は出てきますし、もう一度元の場所へ統合するといった方向に話が進んでいってしまいがちですがけれども、そうすると思いの場所がなくなってしまったという別の話にもなりかねないわけです。色々な方の思いがあるとしても、新しく1校にしてどこに設置するのかとか、通学距離をどうするのかとか、飛び地的な場所に住まわれている人もいますので、課題として捉えていく必要があると思います。 霞ヶ関地区につきまして、他に何かありますか。よろしいでしょうか。
委員一同	(意見なし)
眞下会長	続きまして、名細地区につきまして事務局から説明をお願いします。
事務局	(説明「(2) 協議事項 ②市民センター管内その他6地区(名細地区)」について)
眞下会長	名細地区につきまして、委員の皆様、何かご意見等ありますか。
武藤委員	広谷小学校だけかなり離れていると思います。 広谷小学校の学区の子たちが、本当に名細小とか上戸小の方まで来られるのかといったことが課題になると思います。
眞下会長	次の大東地区にも似たようなところがありますけれども、地区の範囲の中で、角が出ていたり、鍵型に飛び出していたりする地域はどうしても同じような問題が生じると思います。ここに住んでいる子どもたちがどうやって学校に通うのか、地区の中でそういった場所に住んでいることが著しく不利になるというのは課題として指摘できそうな気がします。そういったところも含めまして、委員の皆様、何かご意見ありますか。
藤崎委員	広谷小学校の地域は私も通っているところですが、地図上の広谷小の右側のエリアで中小坂というところに子どもが

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
	多く住んでいます。広谷小に通うのかと思ったら、坂戸市なのです。子どもたちが歩いている様子を見ると、ただ統合すればいいとは言えないです。通学距離に関しては、やはり考える必要があると思います。 名細中学校に関しては、交通上便利なところにあります。ただ、鯨井中の場合は、交通では便利でなく少し遠いです。どのように1校へ集約するかわかりませんが、地区の中で出っ張っている部分が非常に心配になります。
眞下会長	地区の範囲については、過去の様々な経緯があるので、なかなか口出しできるところではないですが、確かに、地区の中で出っ張っている地域、更にそこからも出っ張っているような場所が存在します。そういうところに暮らしている子どもたちはどうするのだろうという点は、私も実は前々から気になっているところであります。
粕谷委員	これが名細小と広谷小を一緒にするとすると、小学生が名細小まで歩いて来られるのかということ、なかなか厳しいかと思えます。中学生でも厳しいのではないかなというのが実感です。
事務局	実際に歩いている事例はあります。
眞下会長	そういった地区の形による通学距離の格差もあります。他に何かご意見はありますか。
小瀬委員	鯨井中と上戸小の地域に平塚新田という地区があります。ここは大人でも歩いて通うのに大変な距離です。統合しても変わらないかもしれませんが、この場合、橋の問題も出てくると思えます。歴史を紐解くと、この川の周辺の土地でかなり揉めて、学校が統合しなかったり、中学校も決まらなかったりという経緯があったと聞いています。今はそのような話はないと思いますが、そういう昔からの土地柄というのがあると思います。
眞下会長	他に名細地区につきましてご意見はありますか。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
委員一同	(意見なし)
眞下会長	続きまして、大東地区につきまして事務局から説明をお願いします。
事務局	(説明「(2) 協議事項 ②市民センター管内その他6地区(大東地区)」について)
眞下会長	大東地区につきましてご意見はありますか。 会長である私が口火を切るのはあまりよろしくないのですが、私が在籍する大学もこの地区にありまして、もう25年間務めておりますと、色々なことがある程度わかってくるわけです。こちらの地区の難しいところは、やはり人口に偏りがありすぎるところかと思っています。 南大塚駅の周辺とそれ以外の地域とで大きな隔たりがあります。合併前の村の配置を考えると、少しややこしくなってくるかと思っています、武蔵野小学校がここにあるのはそういった経過なのだろうと理解しております。 いずれにしても、こういった人口の偏りが統合を難しくしているような気がいたします。 他に何かございますでしょうか。
武藤委員	武蔵野小は大塚小の方が、恐らく大東東小とか大東西小よりも近いと思います。大塚小は、小学校を減らす時には確認すべきだと感じます。
眞下会長	先ほどの高階地区の砂中の部分でもそうでしたが、その学区で一番端になる、ここで言うと、武蔵野小のような南端にある学校については、学区についても他の地区と絡まっているところもあります。このため、市民センター管内ごとに考えましょうとスタートしているのですが、場合によっては、隣接している地区の学校については、その他地区との通学区域の再編成を含めて考えていく必要があると思います。
岩澤委員	武蔵野小に入学する地域の子どもたちは、大塚小とどちらかを選べると聞いたことがあります。現在も入学先が選択できる状況は有効なのでしょうか。あるいは、小学校を卒業し

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
西貝学校教育部長	て中学へ行く時に、近くに中学校がないわけで、どっちのエリアに入るかっていうのを選択できるのか知りたいです。 本来は住所地によって指定校が決められています。ただ、これまでの経緯の中で、自治会等から要望があった地域については、本来の指定校があったとしても、指定校変更という形で別の学校に行くことができる制度があります。おそらく今のご意見はこのことをおっしゃったかと思います。 今回、この審議会にご意見をいただき、今後方針を作っていく中では、そういったところも課題として解決をしていかなければいけないと考えております。今すぐに解決できる問題ではないのですが、今後の大きな課題として認識しております。
岩澤委員	中学生は、自転車で登下校するという可能性があるのですが、小学生はどうしても歩いて登下校するので、市民センター管内で遠くへ行くのであれば、近くの小学校へ指定校変更をすることを検討課題に入れていいかと思い質問しました。
眞下会長	他に何かご意見はありますか。
市村委員	川越市は登下校の際に登校班により集団登下校を行っています。通う学校がすごく離れてしまうと、雨の日とかは、多くの家で親が車で学校まで送ってしまい、登校班が成立しなくて、子どもが1人、2人で歩いているという現実があります。自由登校の市町村は、そこにあまり問題意識は無いのですが、川越市は、基本的には登校班を作っていくという形になっているので、あまり距離が離れてしまうと、登校班も成立しなくなることを懸念します。
眞下会長	距離の問題は色々なところに影響が出るという理解でよろしいでしょうか。
市村委員	はい。
眞下会長	やはり距離はどうやっても縮みようがないわけですので、究極な話で言えば、本当に巡回バスを出せばいいかなと思

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
	っています。 他に何か大東地区に関しましてご意見はありますか。
委員一同	(意見なし)
眞下会長	それでは、そろそろお時間となります。本日は大東地区までといたしまして、残りの霞ヶ関北地区、南古谷地区につきましては次回の会議で行うということでよろしいでしょうか。
委員一同	(異議なし)
眞下会長	それでは、残りの部分につきましては次回の内容とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。
眞下会長	5 その他 それでは「5 その他」に進みます。何かありますか。
委員一同	(意見なし)
眞下会長	それでは、事務連絡を事務局からお願いします。
事務局	次回の第2回審議会につきましては、8月27日水曜日15時からとさせていただきます。 会場は、本日と同じ教育委員会室になっております。
眞下会長	以上を持ちまして、川越市立小中学校適正規模・適正配置審議会第1回会議を閉会いたします。 本日は、ご協力ありがとうございました。 以上

No.	選出区分	選出団体	氏名	フリガナ	出欠
1	学識経験者	東洋大学	小瀬 博之	コセ ヒロユキ	出
2		尚美学園大学	眞下 英二	マシタ エイジ	出
3		東京国際大学	山崎 真之	ヤマザキ マサユキ	出
4	公共的団体の 代表者	川越市自治会連合会	宮岡 寛	ミヤオカ ヒロシ	出
5		川越市自治会連合会	岩澤 嗣夫	イワサワ ツギオ	出
6		川越市民生委員 児童委員協議会連合会	藤崎 昇	フジサキ ノボル	出
7		川越市民生委員 児童委員協議会連合会	市村 博子	イチムラ ヒロコ	出
8	学校教育 関係団体の 代表者	川越市PTA連合会 (中学校)	岡田 研児	オカダ ケンジ	出
9		川越市PTA連合会 (小学校)	國分 洋祐	クニヅ ヨウスケ	出
10		川越市子ども会育成団体 連絡協議会	武藤 寛史	ムトウ ヒロシ	出
11		川越私立幼稚園・ 認定こども園協会	榎本 円	エノモト マトカ	出
12		川越私立保育園協会	牧野 元洋	マキノ モトヒロ	出
13		川越市中学校長会	粕谷 英之	カスヤ ヒデユキ	出
14		川越市小学校長会	遠藤 千絵	エンドウ チェ	出